

令和8年度

第2回市政モニター
提言書作成会議

みとの魅力発信課 市民相談室

次 第

1. 開会
2. 市政モニター会議について
3. 市政モニター提言書作成マニュアルについて
4. 水戸市子育て支援について
(休憩)
5. 「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」についての意見交換
6. その他
7. 事務連絡
8. 閉会

市政モニター提言書作成会議について

1 市政モニター提言書作成会議とは

市政モニターまちづくり提言書を作成するために、複数回会議を開催します。会議では、市政モニターの皆様が作成した提言様式を基に意見交換を行い、皆様がつくりたいと思う理想のまちの姿を磨き上げたり、他の皆様の意見との統合をしていただきます。

これにより、市政モニター活動の趣旨の達成を図ります。

○参考：市政モニター活動の趣旨

より良い広聴環境の形成のため、20歳～39歳の若い世代に市政を紹介するとともに、市政を研究した御意見等を市にいただくことを活動の趣旨としています。

2 会議スケジュール（予定）

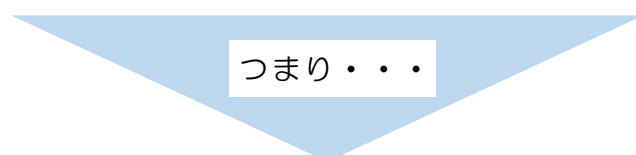
会議	期日	内容
第1回	5月26日（火）	・ テーマである「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」の検討・作成 ・ 市からの情報提供
第2回	7月7日（火）	
第3回	8月中旬頃	
第4回	11月下旬頃	・ テーマである「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」の検討及び提言書の作成・校正
第5回	1月上旬頃	・ 市長への提言内容の発表方法等の確認
発表会	2月下旬頃	市長へ提言書提出 （参考）令和7年度市政モニター提言書 テーマ：水戸市が皆から選ばれるまちづくり 小テーマ1「妊活世代から孫活世代まで安心して暮らせるまち」 小テーマ2「唯一無二の水戸」 小テーマ3「誰もが輝く水戸」

3 まちづくり（市政）について

市政モニター活動の趣旨にある、市政の研究とは、まちづくりに詳しくなっていくことと言い換えることができます。

物事には「目的」と「手段」がありますが、まちづくりの目的とは、「私たちがこれからつくろうとする、理想のまちの姿」を意味し、まちづくりの手段とは主に行政活動等を意味します。

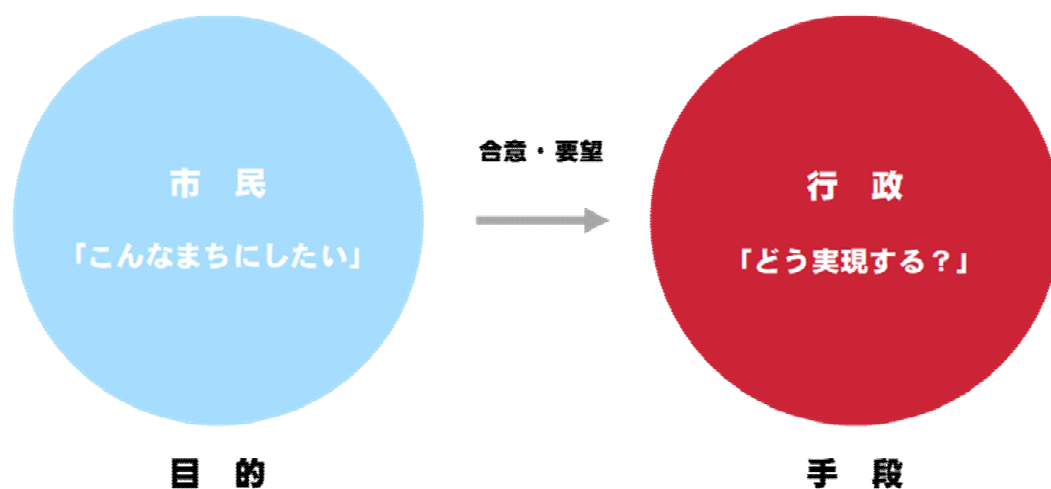
この目的である「私たちがこれからつくろうとする、理想のまちの姿」を決めるのは、主権者である市民の皆様になります。



「私たちがこれからつくろうとする、理想のまちの姿」を市民一人一人が考え、市民同士で話し合うことがまちづくり（市政）の本質（一番大事なこと）になります。

（参考）市民と行政の関係のイメージ

上記をイメージで表すと以下ようになります。



理想のまちをつくるには、目的を「具体的に」伝えることが重要です。

4 提言書作成の流れ

提言書作成の具体的な流れは次のとおりです。

1：提言様式の作成・提出

「市政モニターまちづくり提言書作成マニュアル」を基に提言様式に必要事項を記入し、市民相談室へ御提出ください。なお、未完成の状態でも構いません。

※提言様式の作成・提出は任意となりますが、ぜひ取り組んでみてください。なお、提言様式の御提出は一人一枚までとさせていただきます。

※提出期限を9月末（予定）とし、それ以降はブラッシュアップの期間とします。



2：担当職員との打ち合わせ

御提出いただいた提言様式を基に、担当職員と打ち合わせを行います。



3：それぞれの御意見を基に、会議で意見交換

市政モニター会議時点で提出されている提言様式を提言書へ転記します。それを基に市政モニターの皆様で意見交換を行い、提言の内容等をさらに深めるとともに、同様の御意見の方同士で提言をまとめていただきます。

また、水戸市の取組に関する情報を市民相談室から提供いたします。

※提言様式をご提出されていない方も会議へ御出席いただき、意見交換にご参加いただきます。



4：提言書の完成

会議での話し合い等を踏まえ、市民相談室が提言書（素案）を作成します。それを市政モニターの皆様で確認し、提言書を完成させます。



5：提言書の提出・発表

市政モニターの皆様から市長へ提言書を提出し、提言書の内容の発表を行います。

市長からは発表に対してのコメントをいたします。



5 会議のテーマ

提言書のテーマである「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」について検討していただきます。この会議では「自分が考える理想のまちの姿」について、意見交換をお願いします。「理想のまちの姿」は市政モニターの皆さんが提言様式を作るときに、まずはじめに考えていただく項目になります。

「自分が考える理想のまちの姿」について、ぜひ、活発な意見交換をお願いします。

(参考)

- ・「理想のまちの姿」という言葉では話しづらい時には、子育て、教育、福祉、防災、地域コミュニティ、スポーツ、など、話しやすい身近なテーマを設定し、そこから意見交換を始めていただいても構いません。

6 会議のルール

円滑な運営のため、以下のルールへの御協力をお願いいたします。

○会議のルール

- ・自分たちのまちの未来は、自分たち（市民の皆様）で決めるのが現在のまちづくりの制度です。そのため、世の中の風潮等ではなく、自分の率直な考えを基に意見交換をしてください。
- ・自分とは意見が違う方がいたとしても、自分と相手の意見のどちらにも一理あるため、お互いに自分の考えの良いところを伝えてください。
- ・意見交換の際には、皆から共感されるような、より良い新たな意見を見つけ出すことを意識してください。特に、「良いまちとは何かを皆で自由に考え、話し合うこと」を意識しながら意見交換をお願いします。
- ・会議の場での発言と皆様が提出される提言は内容が違っていてもかまいませんので、自由に積極的な発言をお願いします。なお、多く

の人の意見を聞くことができるよう、皆が話しやすい場づくりへの配慮をお願いします。

- 自分と似た考えをお持ちの方がいた場合には、極力提言様式を一つにまとめていただくよう御協力をお願いします。（市民相談室がまとめるサポートを行います。）
- 「良いまちとは何か」を考えるにあたっては、皆が納得できる客観的な答えがあると想定して、話し合いを進めてください。

（参考）

注意点：「正解は人それぞれ」と考えると、議論が進まなくなる

- お互いの主張が平行線になり、合意形成ができなくなる。
 - 自分の中での複数のアイデアがすべて正解だと思えてしまい、意見を一つに絞ることができなくなる。
- 議論や思考がまとまらず、「理想のまちの姿」が定まらない。

○日常生活の例

友人と「何を食べに行くか」を決める場合

①「客観的な正解がある（2人とも満足できるお店がある）」と想定する場合

最初は意見が異なっても、「話し合えば、お互いが納得するお店が見つかるはずだ」と考え、前向きに話し合いを続けることができる。

②「客観的な正解はない（食べたいものは人それぞれ）」と想定する場合

友人との意見が異なった時点で、「食べたいものは人それぞれだから仕方ない」とあきらめてしまい、お店が決まらなくなる。

現在御提出いただいている提言様式

提言様式

項目	内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
	【水戸の郷土が大人から子どもまで親しまれるまち】
イ	項目アの内容 ・まちの環境について 水戸市には、歴史や自然、文化遺産などが多く存在する。江戸時代から水戸徳川家として栄え、数々の名所や名産品が作られてきた。水戸市は茨城県内で8位（44市町村中）という広さを誇り、どこを見渡しても歴史や文化が存在するのではないかと個人的には感じている。 そして、それを分かりやすく楽しく学ぶことができる「郷土かるた」が存在する。「郷土かるた」は1979年に初版が発売され、全108枚で構成されている。水戸市内の歴史や文化を紹介しているかるたであり、2025年12月1日に改定されている。 ・市民の活動について 「郷土」についてのイベントを挙げると、現在まで「水戸郷土かるた中央大会」が継続して開催されており、また夏休みには小学生向けではあるが「郷土かるためぐり」という、かるたに登場する場所をめぐるツアーを開催している。 また、小中学生の夏休みの課題として「わたしたちの郷土研究」というものが存在する。市内の生徒・児童が郷土の歴史・自然・文化を調べてまとめることを目的としており、自分たちの住む郷土への愛を深めることができると言えるだろう。 ・まちの魅力について 上記で述べたような活動ができるほど水戸には歴史・文化があふれている。小学校内の授業でも水戸について学ぶ時間があったり、社会科見学などで弘道館に行ったりと、非常に歴史・文化が身近に存在することが水戸の大きな魅力であると考えている。
	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力 「郷土かるた」がもっと広まること
	項目ウを実現させるために解決すべき課題 ・現在開催されている「水戸郷土かるた中央大会」が縮小傾向にあること →私が小学生だったころは子ども会内で大会を行い、そこから中央大会に進出するものであったが、現在子ども会は減少傾向にあるためそもそもかるた大会に出場するに至らない？ ・「郷土かるためぐり」が小学生対象であること ・郷土かるた自体初版が古い（1979年）
	項目エを解決・改善する取組 ・「郷土かるためぐり」が小学生対象であること →高校生～大学生にこそ参加していただくべきではないのか？郷土に対する興味、愛を育んでもらうことで進学・就職先に影響するのではないのか？ ・郷土かるた自体初版が古い（1979年） →今の小学生～高校生あたりにイラストを描いてもらうのはどうか？2029年でちょうど50周年を迎えるため、記念事業としてもいいのではないのか？
オ	

	備考 参考リンク ・水戸市HP 水戸市教育委員会 https://www.city.mito.lg.jp/site/education/34772.html ・水戸市HP 水戸の歴史について https://www.city.mito.lg.jp/site/kids/4116.html ・水戸市立博物館 わたしたちの郷土研究展 https://www.city.mito.lg.jp/site/museum/6151.html ・群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 郷土かるたコレクション https://carta.media.gunma-u.ac.jp/index.html ・グラフで見る水戸市の総面積 https://graphtochart.com/japan/mito-shi-total-land-area-incl-the-northern-territories-and-takeshima.php
--	--

提言様式

項目	内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
	学生の 学び深まる 場所作り
イ	項目アの内容
	・ まちの環境について 市民会館などに勉強スペースはあるが、貸切の場合があり気軽には足を運びづらい。 水戸駅周辺に勉強可能スペースがあることにより、少しの空き時間に利用することがで きる。 カフェや飲食店(個人経営等)が多くある。 ・ 市民の活動について 水戸駅周辺は学生が集いやすい。 ・ まちの魅力について 学生が集える場所として水戸駅や隣接する施設がある。
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力
	水戸の街中で学ぶことができ地域の方とも関わりをもてる街
エ	項目ウを実現させるために解決すべき課題
	元からあるお店に許可を取り、勉強スペースとしての利用が可能かどうか確認して、市公 認の勉強可能スペースを設ける。
オ	項目エを解決・改善する取組
	勉強スペースの利用時間など決まりをつくる。水戸のフリーWiFi を設置する。
	備考
	この取り組みをすることにより若者たちに水戸まちなかの魅力を気づいてもらう。